

日本人とギニア人が一緒に毎朝ラジオ体操！？

在ギニア日本国大使館

ギニアの首都コナクリから北に進むと、日本人とギニア人が一緒にラジオ体操している様子を見ることができるかもしれません。実はここは、日本の政府開発援助によって架け替えられているスンバ橋の工事現場です。現場では、日本人のコンサルタントと施工業者、ギニア人スタッフが毎朝一緒にラジオ体操をしています。また、同現場は、機材の整理整頓も徹底されています。

日本人とギニア人では、一般的に文化や育ってきた環境が大きく異なり、文化・価値観の違いは工事現場での安全への意識にも表れます。大きな鉄筋等の材料を使用し、高いところで作業を行う現場では、安全への意識の欠如が命取りとなることもあります。日常的に整理整頓を意識し、毎朝、全員でラジオ体操を行うことで、スタッフの士気や一体感を高め、作業の安全性や効率の向上が期待できます。



日本人とギニア人職員がラジオ体操をする様子
(セントラルコンサルタント・大日本土木提供)



ギニア人職員に測量を教える日本人職員
(セントラルコンサルタント・大日本土木提供)